

## 防災訓練実施結果報告書の要旨

2025年3月21日

株式会社グローバル・ニュークリア・フュエル・ジャパン

報告事項	主な報告内容
訓練実施日	2024年11月5日
参加人数	228名
想定した原子力災害の概要	第1部訓練： 大地震発生を起因として、管理区域内で二酸化ウラン粉末が飛散するが、現場収束活動により特定事象には至らない事象を想定。 第2部訓練： 大地震発生を起因として、管理区域境界扉から屋外への二酸化ウラン粉末缶の放出及び屋外での二酸化ウラン粉末飛散により、原子力警戒事態から原子力災害対策特別措置法第10条及び第15条に至る原子力災害を想定。
訓練の内容	(1) 通報訓練 (2) 除染作業等の訓練 (3) モニタリング訓練 (4) 避難誘導訓練 (5) その他の訓練
訓練の評価	各項目の訓練を実施し、訓練評価者による評価結果、訓練終了後の反省会等により、計画した訓練に大きな支障がなく、訓練目標を概ね達成しており、原子力防災本部の対応能力向上と原子力防災本部が原子力災害の拡大防止に有効に機能することを確認した。
今後に向けた改善点等	今回の訓練の結果、以下の改善点を抽出した。 (1) クロノロ（社内情報共有ツール）の正確な記載 (2) リエゾンの資料印刷及び配布等の活動内容 今後、今回の訓練結果をもとにPDCAを回すことにより、原子力防災業務計画及び中期計画を見直し、防災体制の継続的な改善を図っていく。

### 用語等の解説

- リエゾン

当事業所の緊急時対策所の活動をサポートするために、国の緊急時対応センター（ERC）に派遣する  
当社の防災要員

以上